

地震から家族の命を守る

家具の固定はお済みですか？

6月に発生した大阪府北部の地震や熊本地震、阪神・淡路大震災などの大地震では、多くの方が、住宅の倒壊に加え、倒れてきた家具の下敷きになり、被害にあいました。

阪神・淡路大震災では、実に死亡原因の73%が自宅の倒壊や家具の転倒などによる「窒息・圧死」でした。

その多くは「住宅の耐震化」や「家具転倒防止対策」を行っていれば、助かった命です。

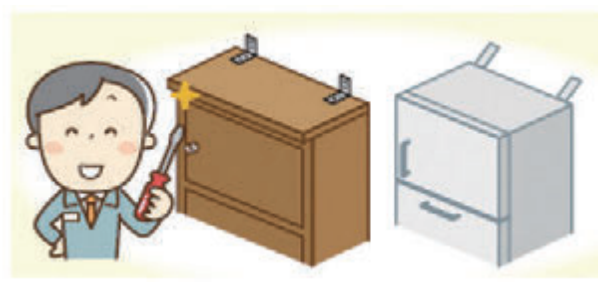
御坊市において、想定される大きな地震は南海トラフ巨大地震と中央構造線断層帯による地震があり、いずれの地震でも震度5強以上の揺れが想定されています。



地震から命を守るために家具の転倒防止対策を進めましょう。

置き場所や置き方に注意して、家具等を配置しましょう。

適切な固定具で、家具等の転倒を防止しましょう。



○家具転倒防止チェック表

下記のチェック表で対策できていないところを確認し、家の中でどこが危険なのかを把握しましょう。

		チェック
①	2階にピアノや重いものが入った家具などを置いていない	
②	家具などを家屋の片側に集中して置いていない	
③	背の高い家具は固定して転倒防止をしている	
④	エアコン、額縁などの落下防止をしている	
⑤	家具の上に重いものを置いていない	
⑥	本棚などの収納物は、重いものを下にしている	
⑦	扉や引き出しの開放防止策をとっている	
⑧	ガラス飛散防止フィルムをはっている	
⑨	食器棚などの収納物の落下防止をしている	
⑩	照明器具の落下防止をしている	



チェックの結果、家具の転倒防止補助をご希望の方

○御坊市では、御自身で家具などの固定が困難な要配慮者世帯を対象に、固定を代行したり、固定に要する費用を助成する制度を設けています。（※対象家具：本棚・食器棚・タンスの3種類のみになります。）

家具の転倒防止を行うことは避難路の確保や押しつぶされることへの対策になります。

地震や津波から命を守るために、事前にできることはやっておきましょう。